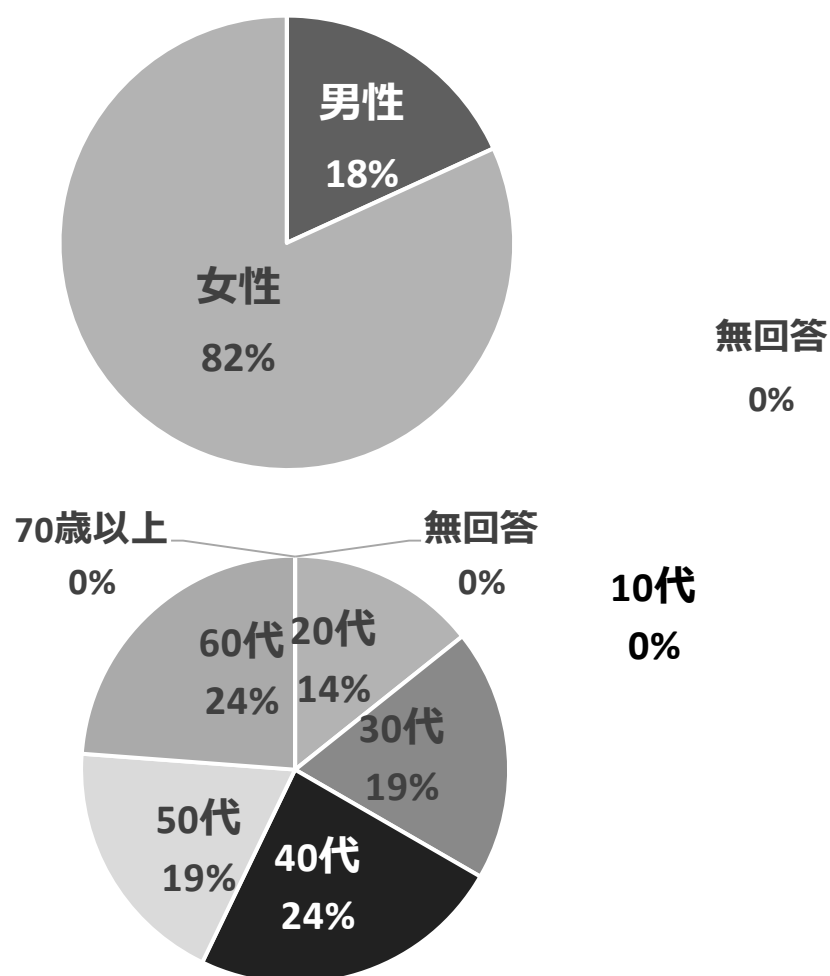


➤ 開催日及びアンケート有効回答数

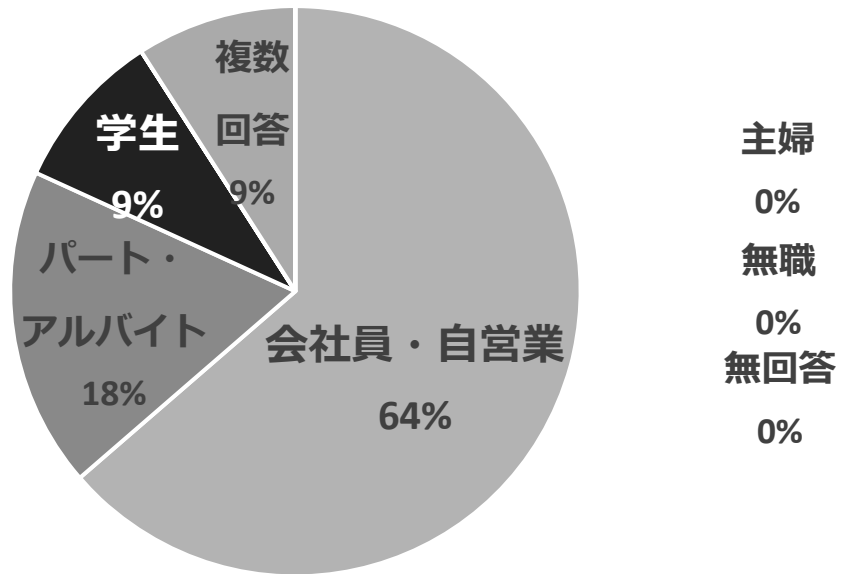
➤	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	11月8日(水)	11月15日(水)	11月22日(水)	12月6日(水)
回答数	11通	13通	13通	9通

➤ 回答者データ

第1回目の回答者(n=11)を性別で見ると、男性18%、女性82%であった。年代別に見ると、40歳代と60歳代が24%となっており、次いで30歳代と50歳代が同じく19%、20歳代が14%という結果になった。

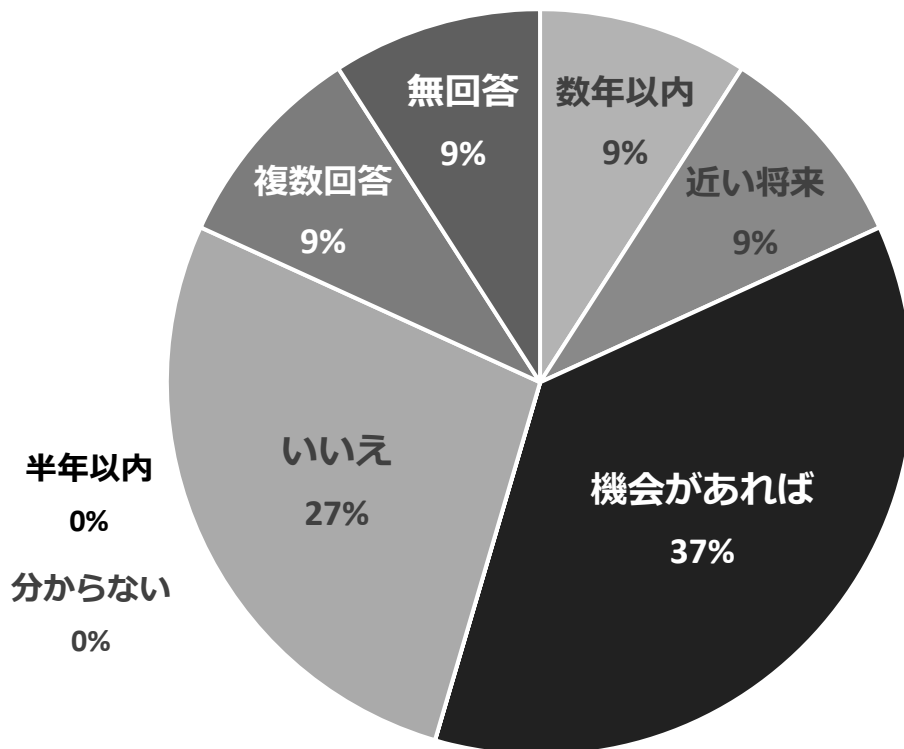


回答者の職業を見ると、「会社員・自営業」が64%、「パート・アルバイト」が18%、自営業とパート・アルバイトを掛け持ちしているという回答が9%で、現在何らかの職についている割合が9割を超える結果となった。続いて「学生」が9%、「主婦」「無職」は0%であった。



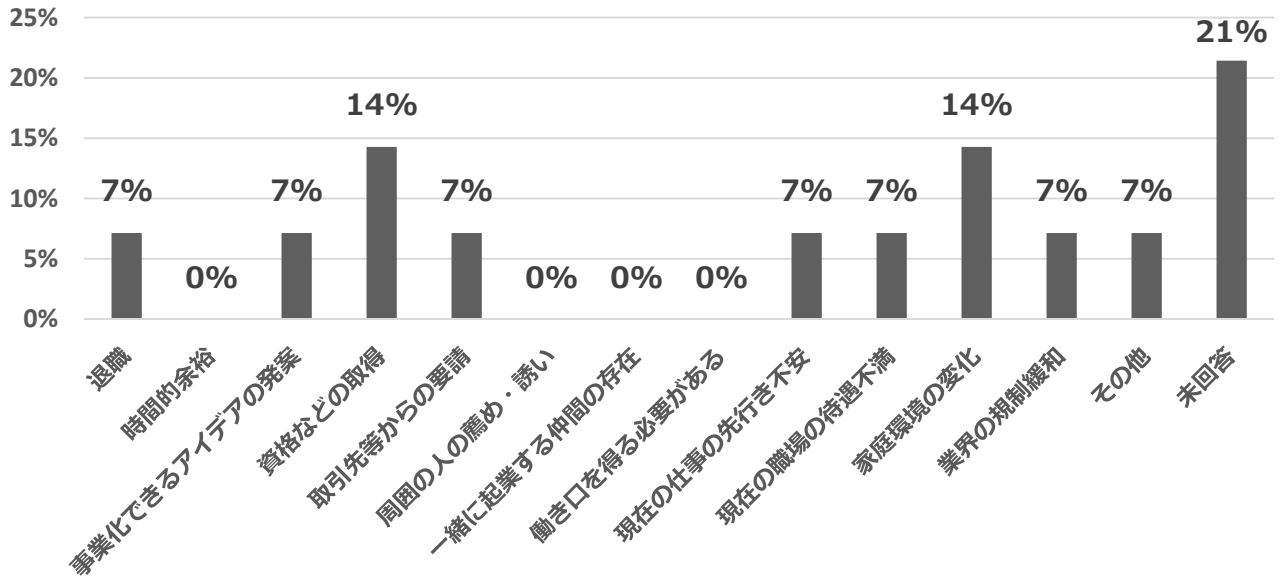
➤ 起業・創業の検討内容

【現在、起業・創業を検討していますか？】という問いに対しては、「機会があれば」が37%となっており最多となっていた。「近い将来」、「数年以内」がともに9%である反面、「いいえ」が27%と起業・創業について消極的な意見も見られた。なお、「機会があれば」と「近い将来」のどちらも選択した人が9%確認された。

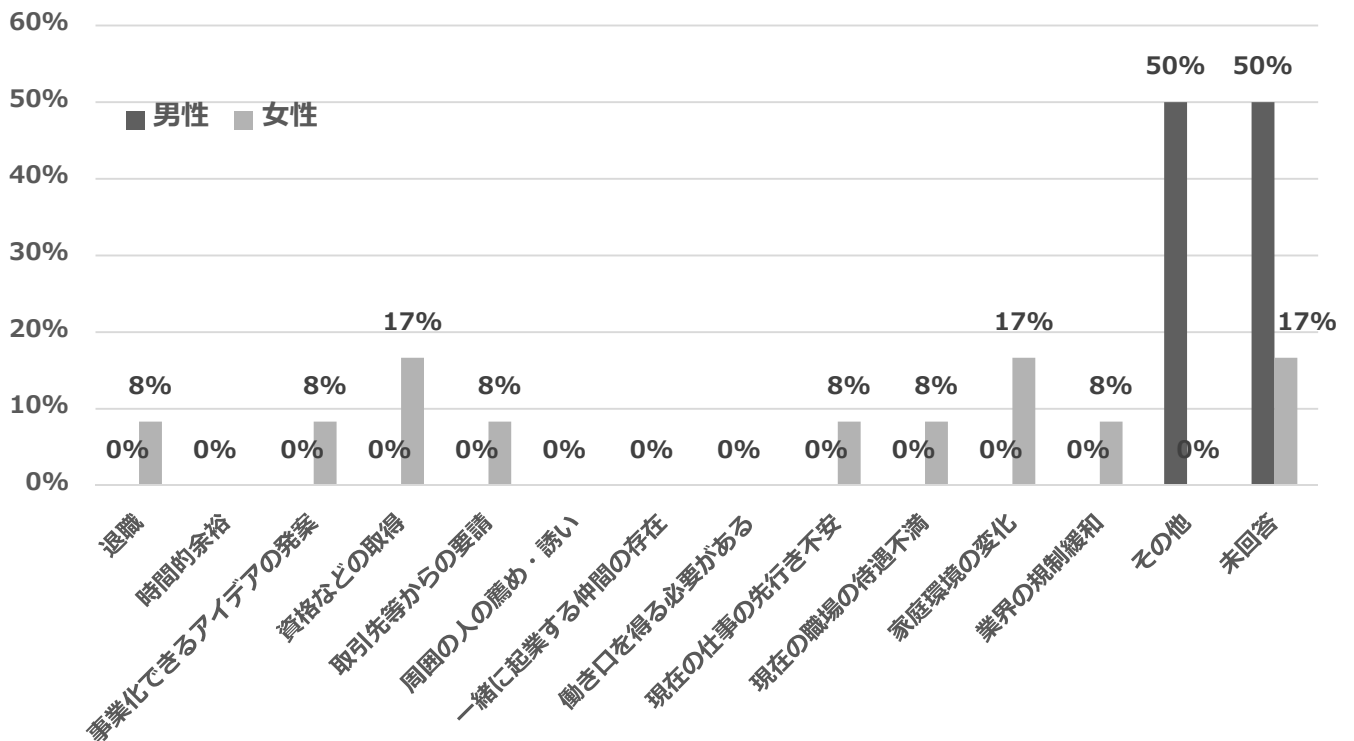


➤ 起業・創業を検討するきっかけ

【起業・創業を検討されるきっかけは何ですか？（複数回答可：総回答数 14）】の問いでは、未回答が 21%で最多となった。選択肢の中で回答が多い「資格などの取得」「家庭環境の変化」はどちらも 14%であり、それ以外の選択肢にはバラツキがみられた。

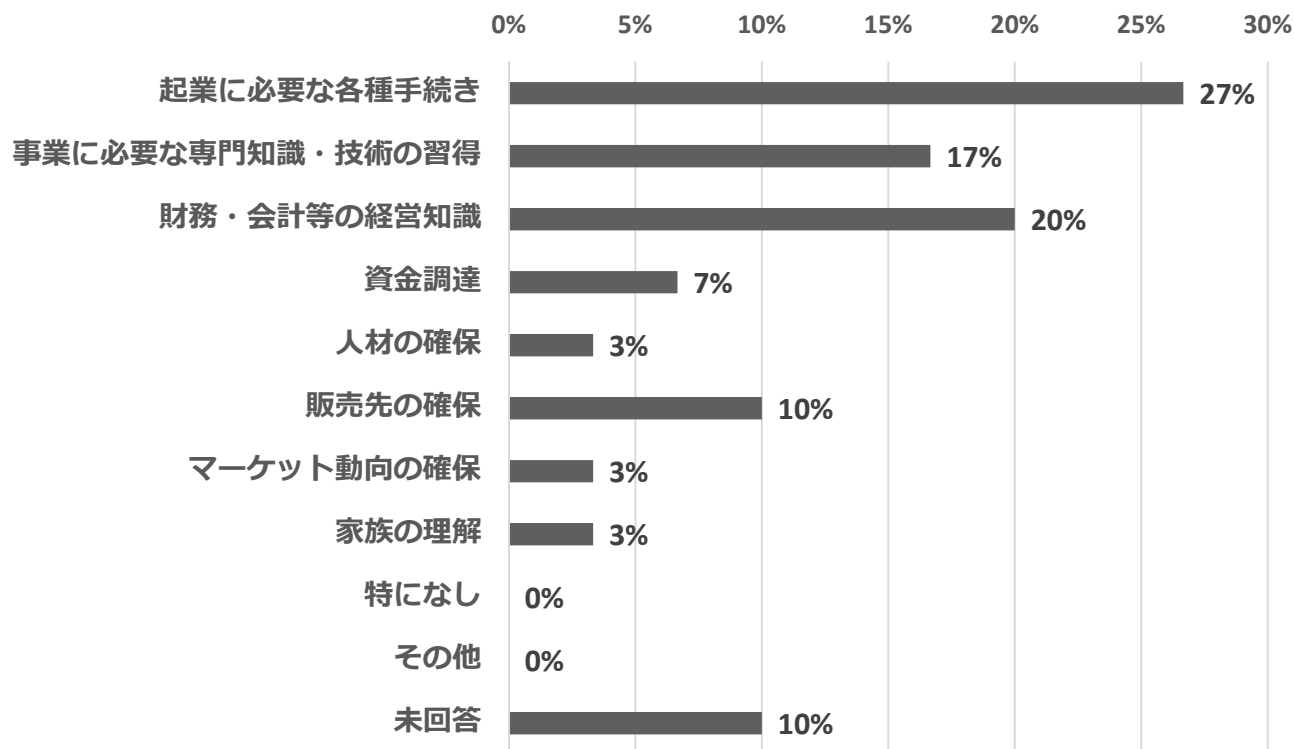


次に、起業・創業するきっかけを性別に見ると、参加者に女性が多い点を考慮に入れても、女性の回答が得られた項目数は 12 項目中 9 項目もあり、女性の方が様々なことをきっかけにするということが分かる。

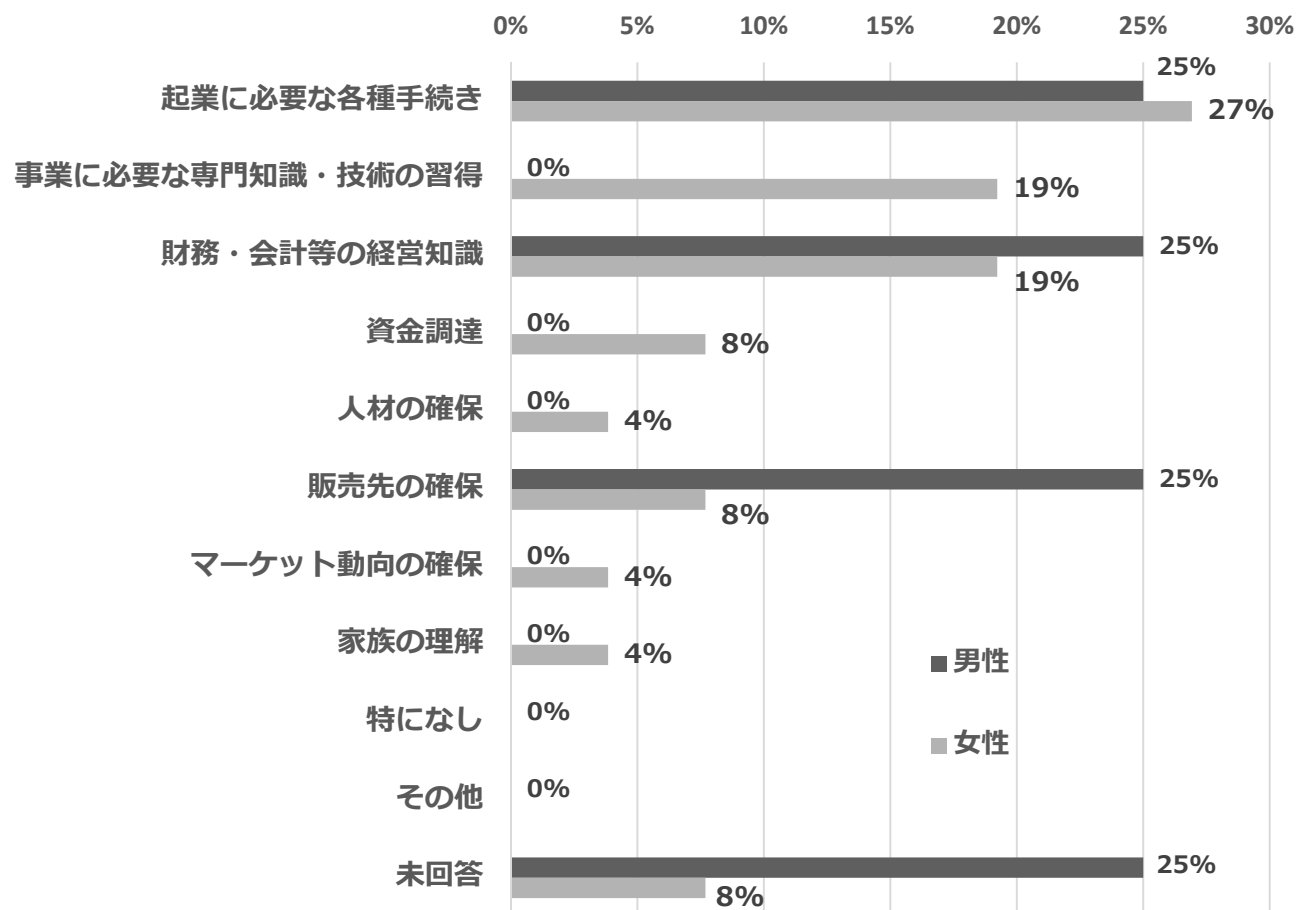


➤ 起業・創業に対する不安

【起業・創業に対する不安は何ですか？（複数回答可：総回答数 30）】の問いでは、「起業に必要な各種手続き」が 27%と最も多く、「財務・会計等の経営知識」が 20%、「起業に必要な専門知識・技術の習得」が 17%と続き、資金や人材、販売先などの直接的な経営活動よりも、経営や会計に関する知識・手続きに不安を感じている姿が明らかとなった。

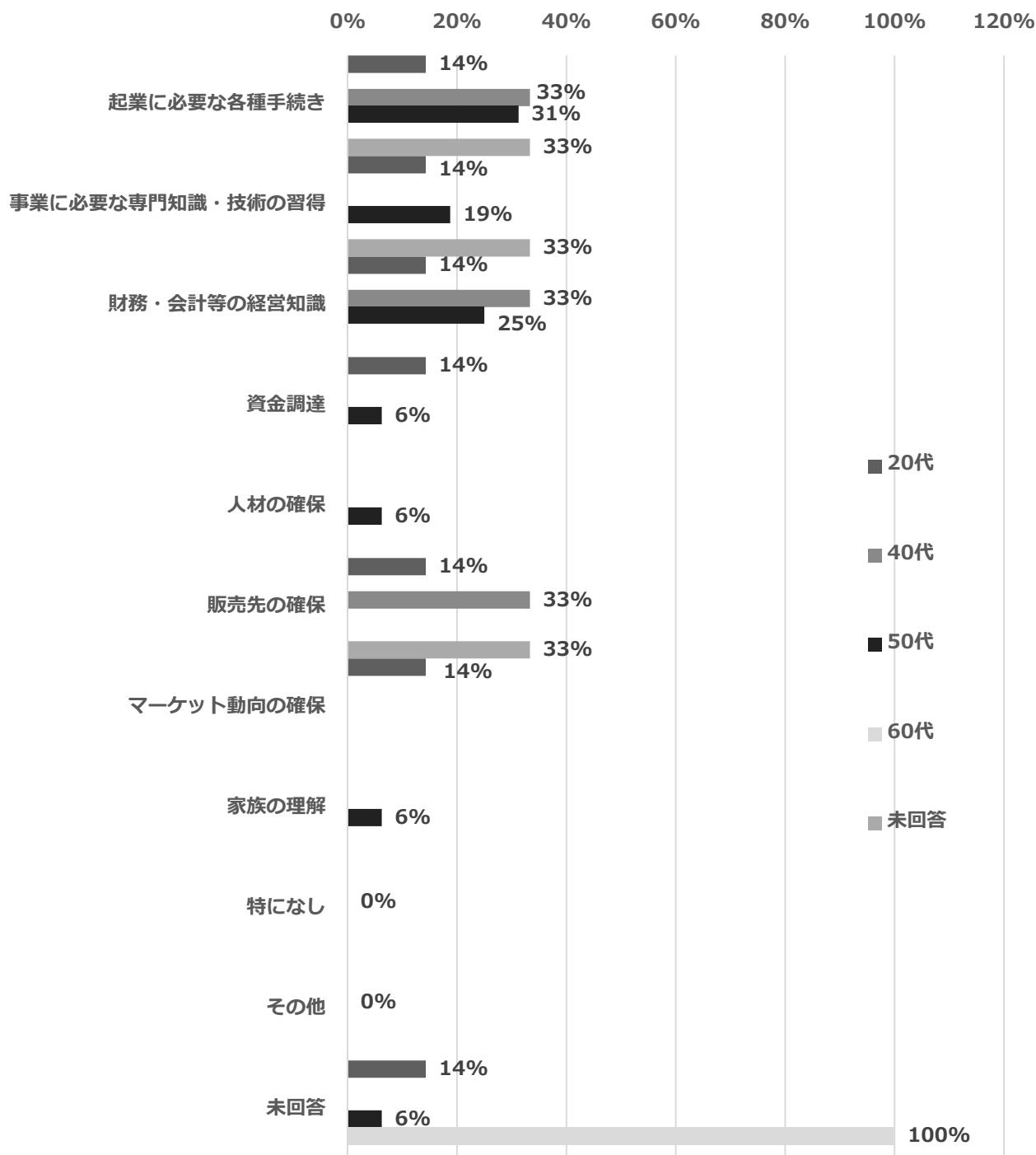


性別を見ると、女性は、特に「起業に必要な各種手続き」は27%、「事業に必要な専門知識・技術の習得」及び「財務・会計などの知識」は19%となっているが、全体的にバラツキがみられ、不安に思う項目が多いということが分かった。他方、男性は「起業に必要な各種手続き」「財務・会計などの知識」「販売先の確保」の3項目が25%で最多回答となっていた。



年齢別に見ると、20代は様々な問題に不安を抱えている様子が見てとれる。40代は「起業に必要な各種手続き」「財務・会計等の経営知識」「販売先の確保」が33%で同率、50代は「起業に必要な各種手続き」が31%で「財務・会計などの経営知識」が続く25%、「事業に必要な専門知識・技術の習得」が19%、その他の不安は3項目が6%で散らばる結果となった。

今回回答を得ることができた20代、40代、50代に共通してみられる不安な点は「起業に必要な各種手続き」、次いで「財務・会計などの知識」も3世代が共通して不安を抱える点であることがわかった。

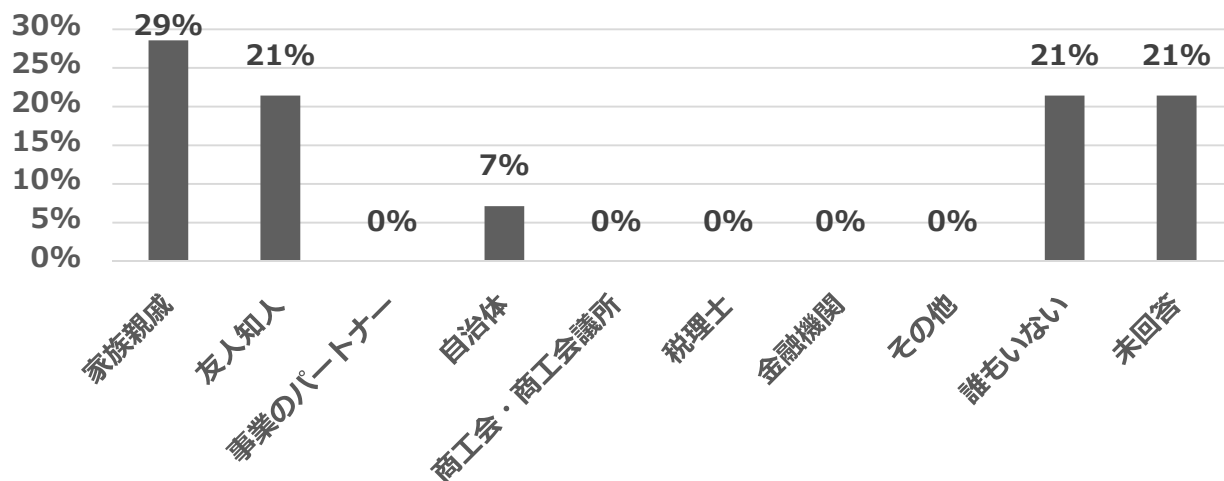


	20代	40代	50代	60代	未回答
起業に必要な各種手続き	14%	33%	31%	0%	33%
事業に必要な専門知識・ 技術の習得	14%	0%	19%	0%	33%
財務・会計等の経営知識	14%	33%	25%	0%	0%
資金調達	14%	0%	6%	0%	0%
人材の確保	0%	0%	6%	0%	0%
販売先の確保	14%	33%	0%	0%	33%
マーケット動向の確保	14%	0%	0%	0%	0%
家族の理解	0%	0%	6%	0%	0%
特になし	0%	0%	0%	0%	0%
その他	0%	0%	0%	0%	0%
未回答	14%	0%	6%	100%	0%

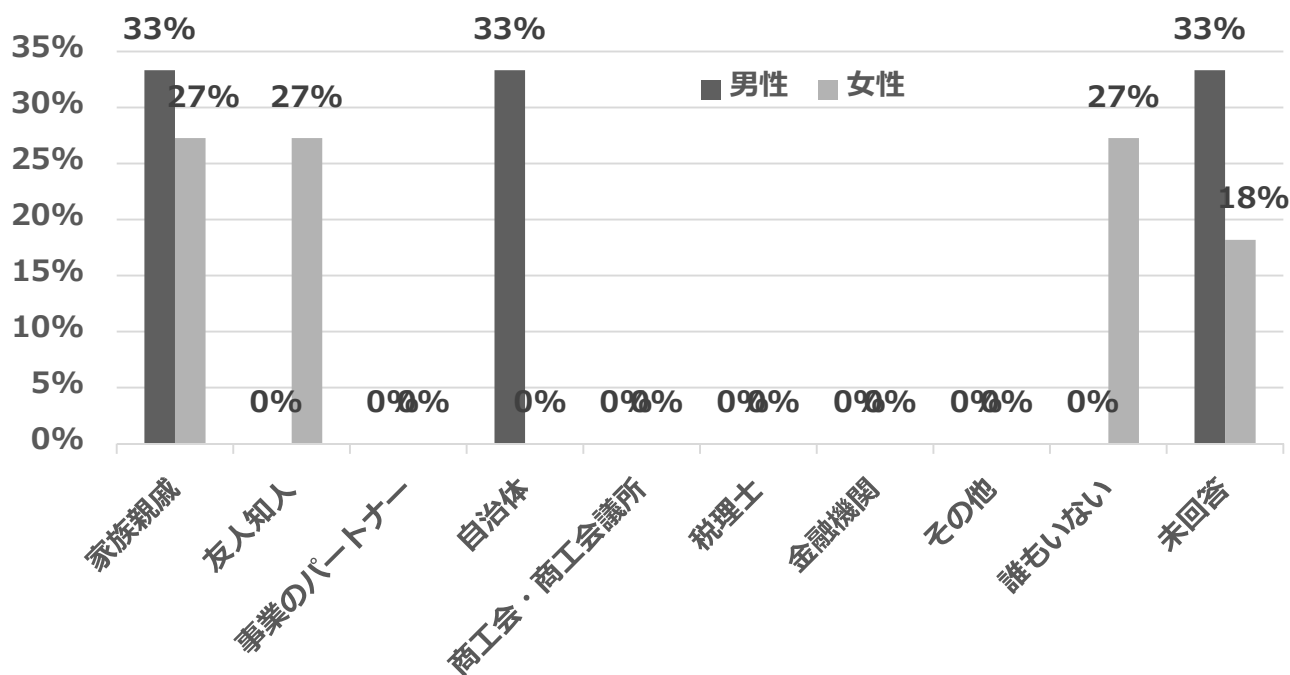
➤ 起業・創業に向けての相談相手

【起業に向けての相談相手は誰ですか？（複数回答可：総回答数 14）】の問いについては、「家族親戚」が 29%で回答数の 3 割を占める割合となり、次いで「友人知人」が 21%で「家族親戚」と合わせて総回答数の過半数が相談相手として身近な人間を選んでいる結果となった。

選択肢中、第三者機関の中で相談相手として選ばれたのは「自治体」の 7%のみで、「誰もいない」についても 21%と高い。

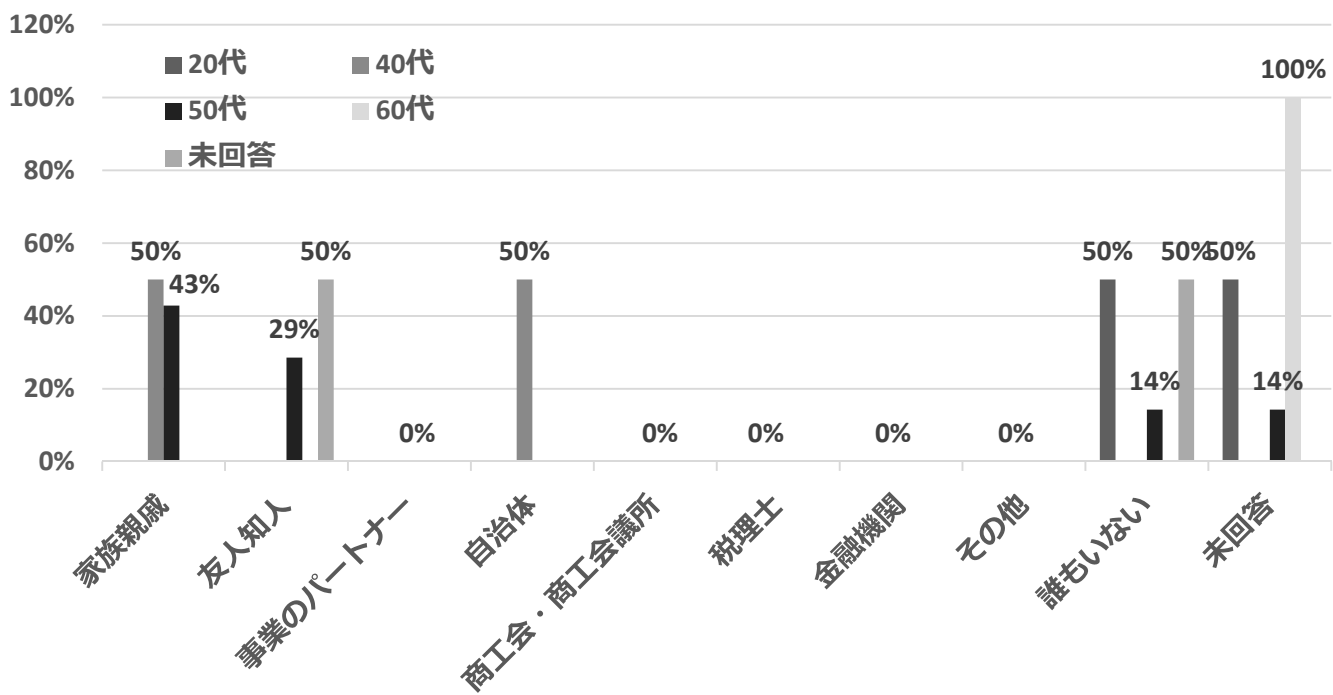


性別を見ると、女性は「家族親戚」「友人知人」「誰もいない」の回答がいずれも27%、男性は「家族親戚」「自治体」がいずれも33%であった。性差としては「友人知人」の回答が女性27%だが男性は0%で、逆に「自治体」の回答が男性33%あったが、女性は0%であった。また「誰もいない」と答えたのも女性のみであった。



年齢別に見ると、20代では「誰もいない」と「未回答」が半数ずつで、40代では「家族親戚」と「自治体」が半数ずつであった。50代では「家族親戚」が一番多く43%、続いて「友人知人」が29%、「誰もいない」が14%で60代からは回答が得られなかった。



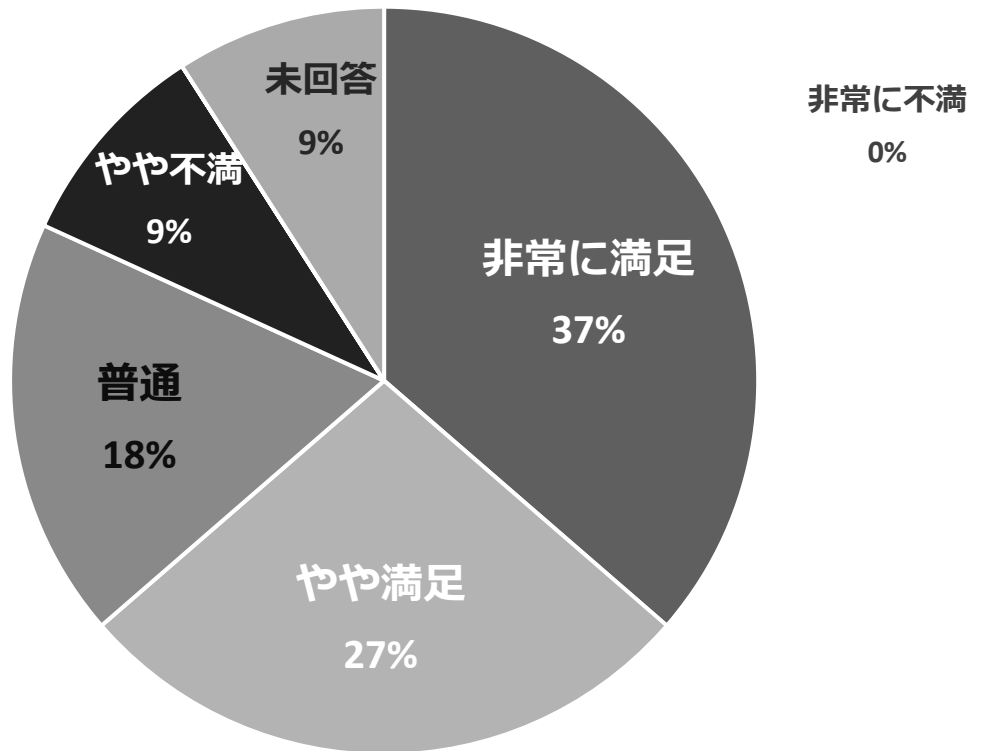


	20代	40代	50代	60代	未回答
家族親戚	0%	50%	43%	0%	0%
友人知人	0%	0%	29%	0%	50%
事業のパートナー	0%	0%	0%	0%	0%
自治体	0%	50%	0%	0%	0%
商工会・会議所	0%	0%	0%	0%	0%
商工会議所	0%	0%	0%	0%	0%
税理士	0%	0%	0%	0%	0%
金融機関	0%	0%	0%	0%	0%
その他	0%	0%	0%	0%	0%
誰もいない	50%	0%	14%	0%	50%
未回答	50%	0%	14%	100%	0%

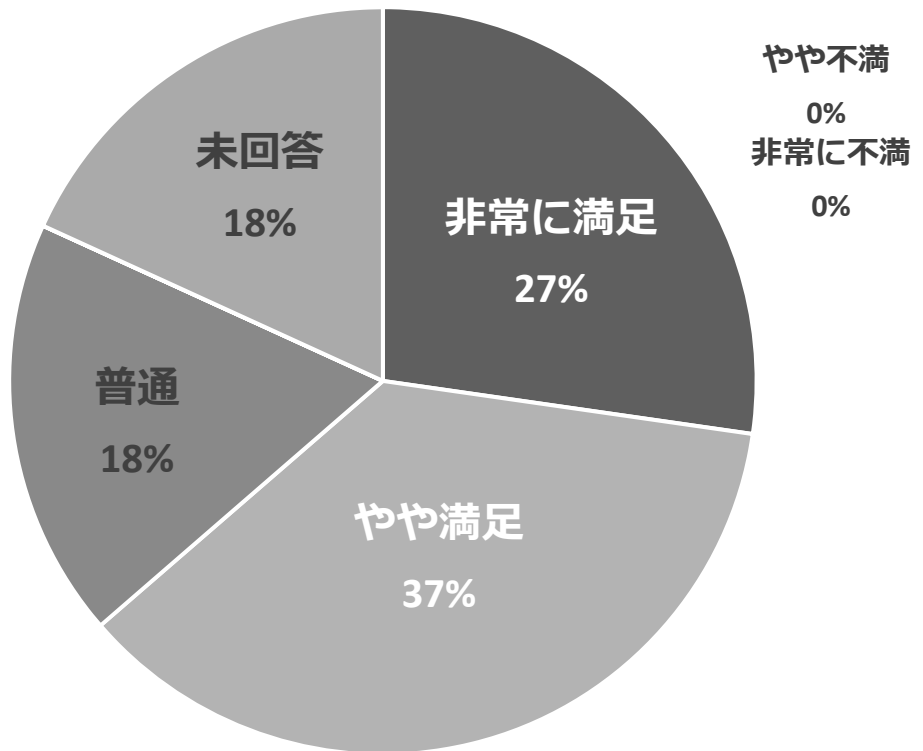
➤ 第1回創業塾の満足度

前半と後半共に「非常に満足」「やや満足」を合わせると過半数を超える結果となった。

第1回  
前半：実習



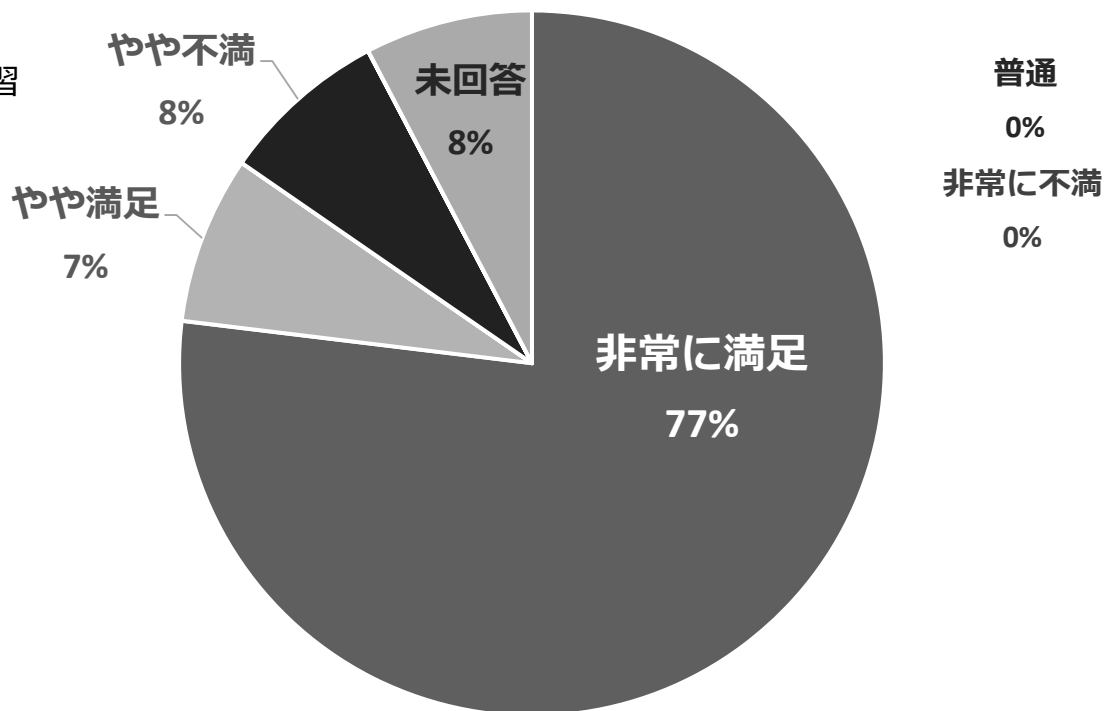
第1回  
後半：座学



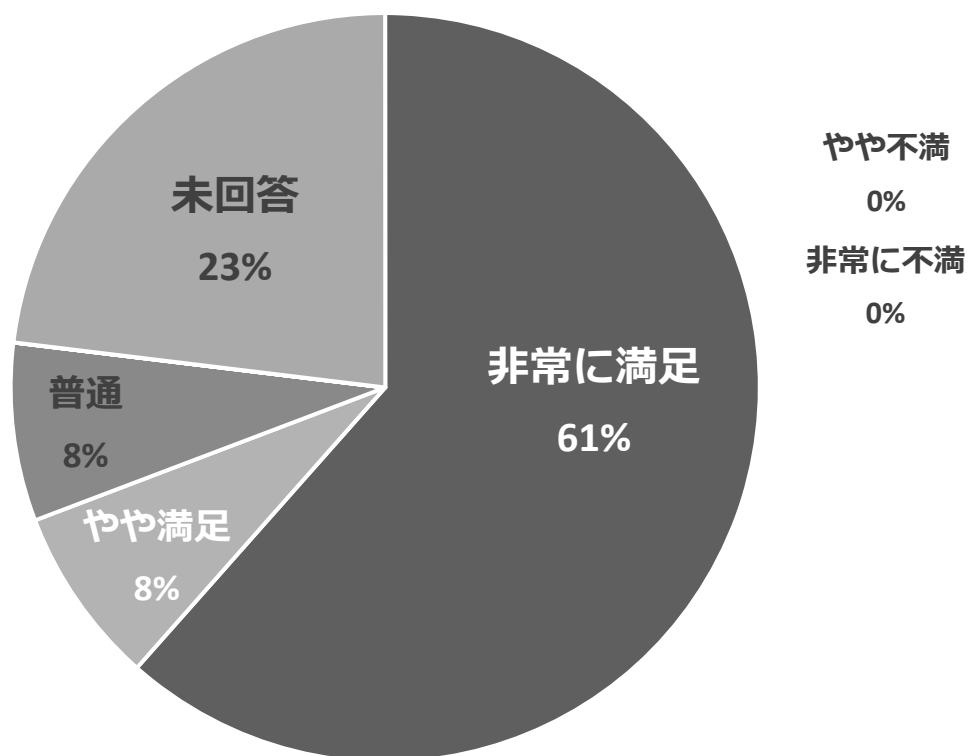
➤ 第2回創業塾の満足度

第2回の満足度については、前半は「非常に満足」の回答が77%と8割近い満足度を得た。後半は未回答が23%と回答数が下がった中でも「非常に満足」が61%、「やや満足」が8%、「普通」8%と続き、全体的に満足度は高かったようである。

第2回  
前半：実習



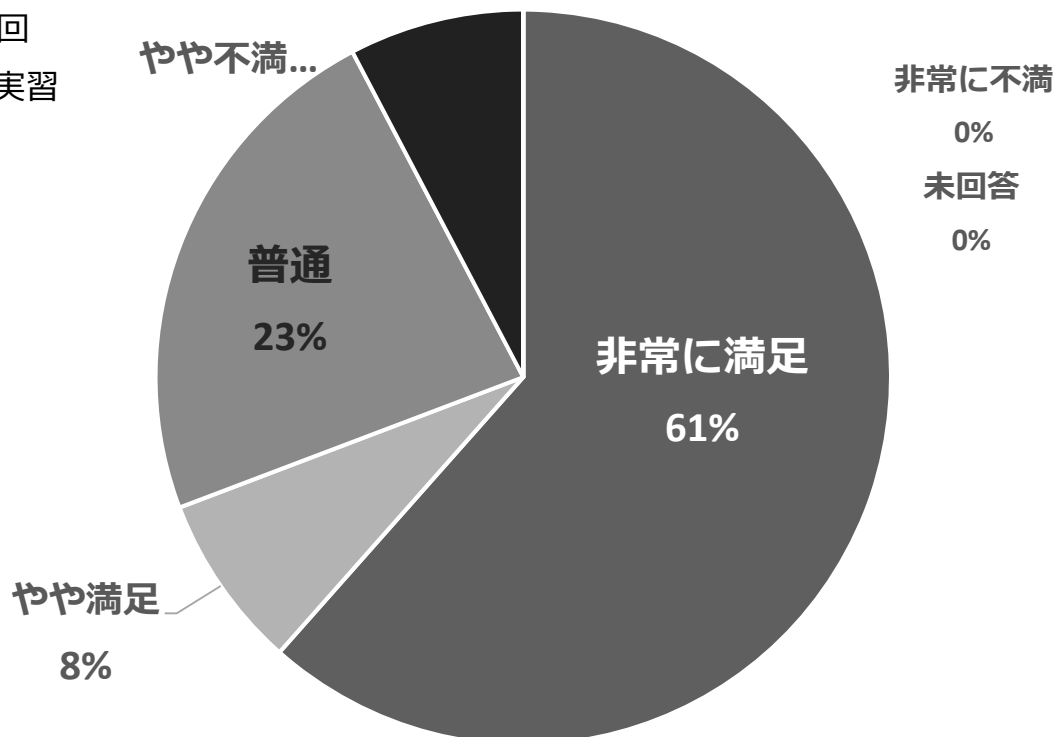
第2回  
後半：座学



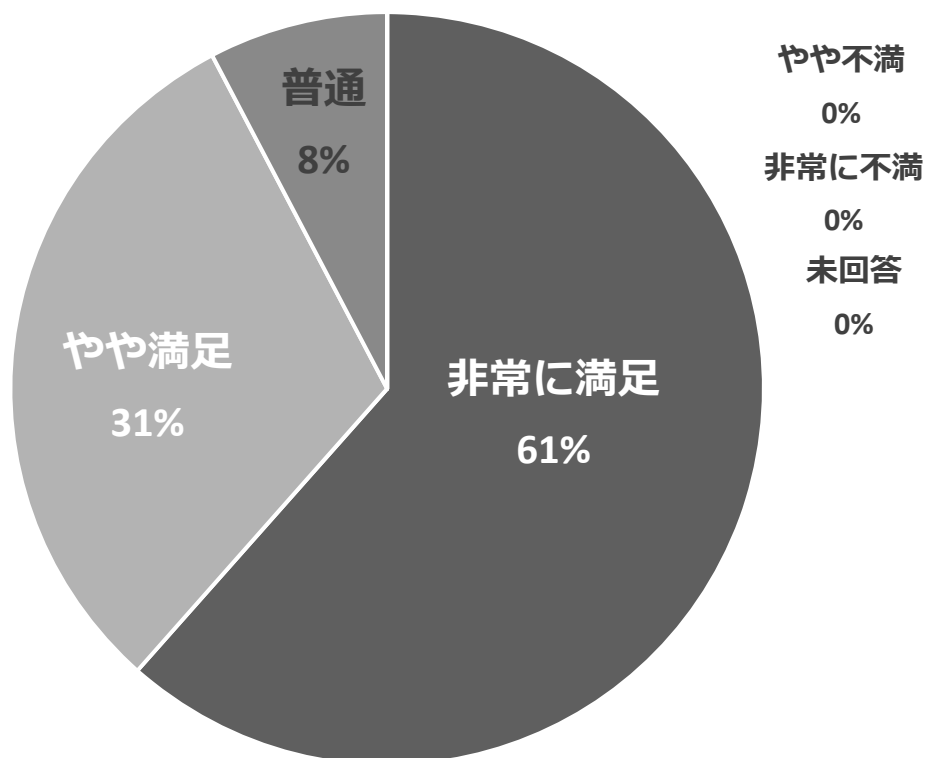
➤ 第3回創業塾の満足度

満足度については、前半は「非常に満足」のみでも半数以上、後半においては「非常に満足」と「やや満足」を合わせることで満足度が9割を超え、大変高い満足度となった。

第3回  
前半：実習



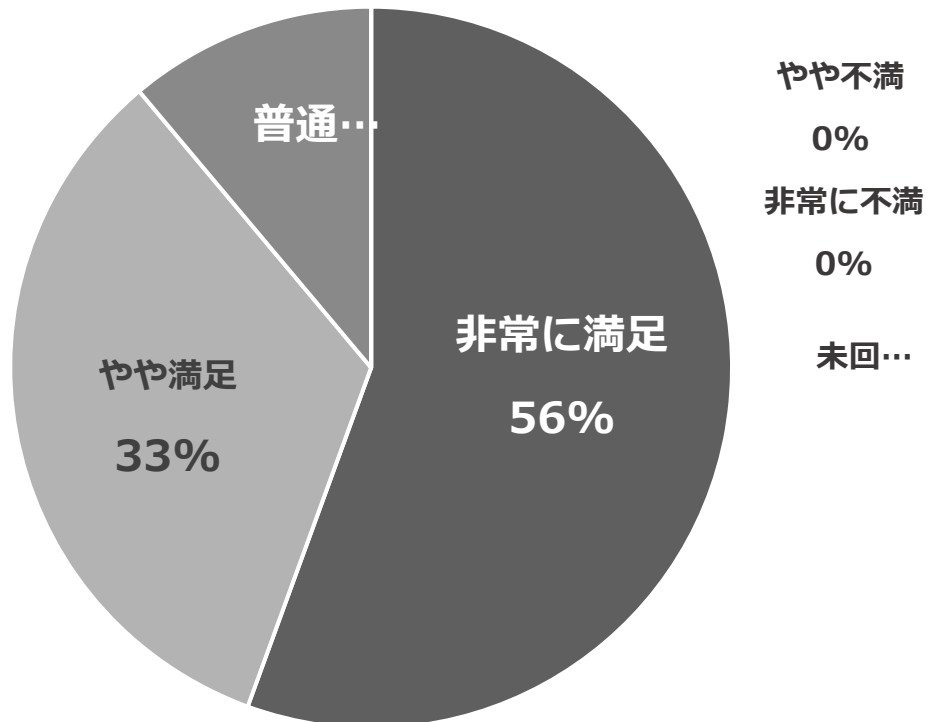
第3回  
後半：座学



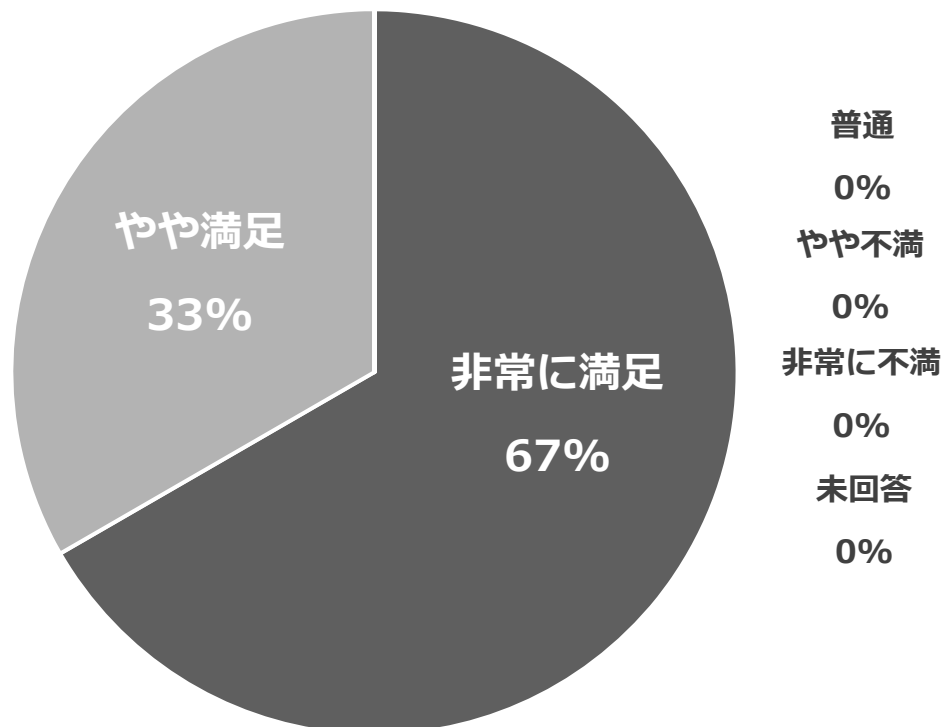
➤ 第4回創業塾の満足度

第4回の満足度については、前半は「非常に満足」と「やや満足」の回答で9割という高い満足度を得ており、後半は参加者全員が「非常に満足」と「やや満足」のどちらかを回答しており、全4回の中でも一番高い満足度となった。

第4回  
前半：実習



第4回  
後半：座学



➤ 第1回創業塾に関するご意見等（原文のまま記載）

- ✓ 質問(具体的な)したい事があつたがでなかつた。(50代 女性)
- ✓ とても勉強になりました。今後も19:00くらいからのセミナーをしてほしい。(50代 女性)

➤ 第2回創業塾に関するご意見等

- ✓ ○「ベジブーケ」に対して:当初は全く興味なかつたのですが、実物を見てみたいなあと思ひ、参加させていただきました。実際に小さいブーケを作らせてもらひ、ふだん身近にある植物、野菜でも作れることに気づき、面白かつたです。先生の優しい雰囲気と人柄に大変親しみを感じました!講師になられる方々は色々いらつしゃいますが、やはり最後は人柄だなあと実感しました。
- 今後について:加工品の「パッケージ・ラッピング」ほか販売促進の役に立つもの、一から作るのではなく、既存のものを利用できるとありがたい。例えば市販の紙箱(シモジマのとか)を上手に作つてのギフト用BOX作り。とか気の利いたラッピングを教へてもらへると嬉しい。
- 食品成分表示についての勉強会
- ギフトショーへ行くツアー、商工会でぜひ組んでください!!行きたいです!(40代 女性)
- ✓ ベジブーケの勉強してみたいと思ひました。(40代 男性)
- ✓ ○起業しはじめの体験談や相談事をできると良いです。
- 実際に行つている人と直接話せると良いと思ひます。始めるときは不安が大きいからです。
- 小山さんのように、別な視点、考え方がとても重要と考えます。あぐりーむ昭和でプチイベント(ベジブーケ作り)を行つても良いと思ひます。昭和村発、千葉県と群馬県の交流のきっかけになるかと。(40代 男性)
- ✓ 創業のきっかけになる疑問点の探し方(20代 女性)
- ✓ 恥じらいをおさえて前に出る勇気の出し方をテーマとして扱つてほしい(20代 女性)
- ✓ 今回のベジブーケに興味がありました。また企画をお願いします。(50代 女性)

➤ 第3回創業塾に関するご意見等（原文のまま記載）

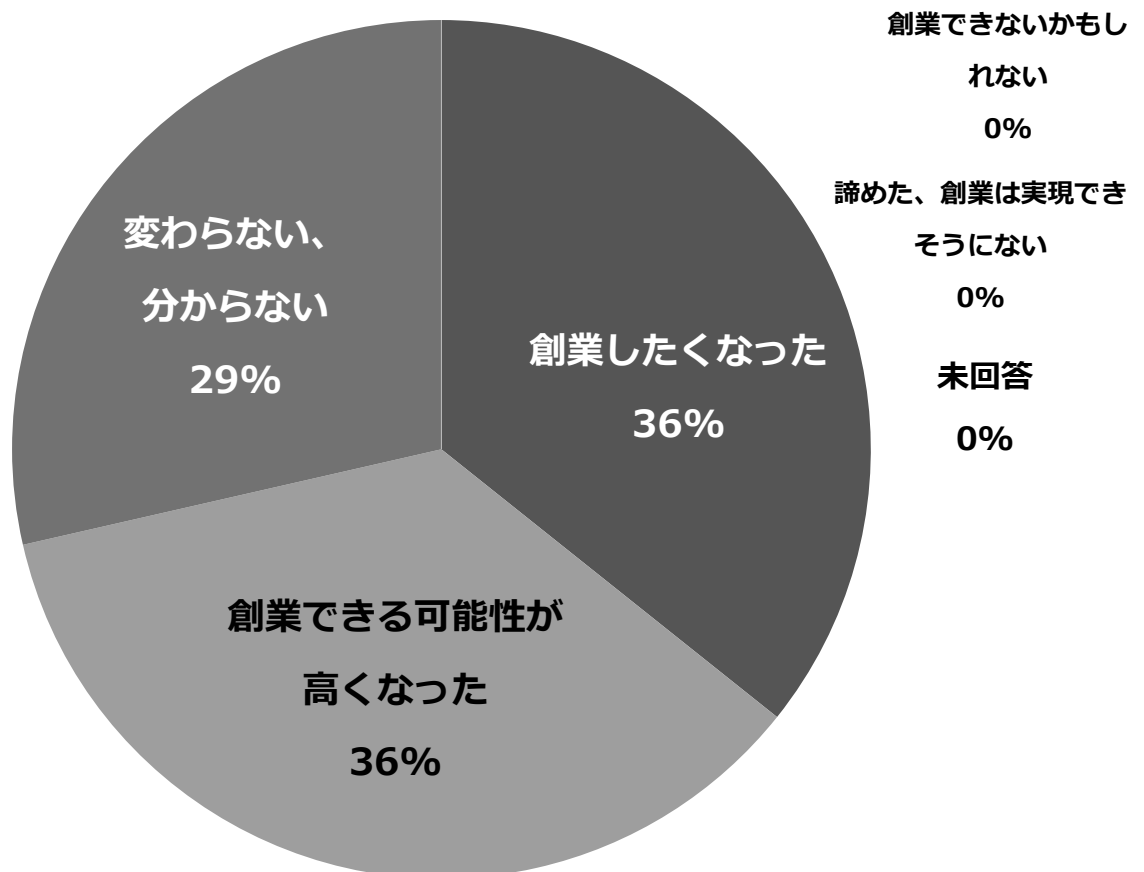
- ✓ 今回は商品開発にもつながる内容でよかったのですが、渡された資料はカラーにしてほしかった。「ジェラートはビジュアル」がもったいないです。(40代 男性)
- ✓ コンサルに会社をのっとられかけた話があったが、どのように対処したのか知りたかった(やはり法的手段なのだろうか…?)(20代 女性)
- ✓ 考え方がとてもポテンシャルが高く前向きなのが共感できる(50代 女性)
- ✓ とても参考になりました。やる気が大事だと思いました。(50代 女性)
- ✓ 布施さんの熱いお話し、大変ききやすかったです。大変勉強になりました。特に近々商談会がありますので参考になりました。大変ありがとうございました。(40代 女性)

➤ 第4回創業塾に関するご意見等（原文のまま記載）

- ✓ 4回あった今回のような体験談はとてもよかったと思います。  
非常にやる気元気がもらえました。私はすでにお店を30数年していますが、色々の分野の人たちの若い考えが聞かせてもらってとても良かったです。古い頭の中に新しい風が入って明日から又がんばれます。次回もぜひこのような経営者の体験談をお願いしたいものです。(女性 40代)

➤ 創業に向けた手応えの変化

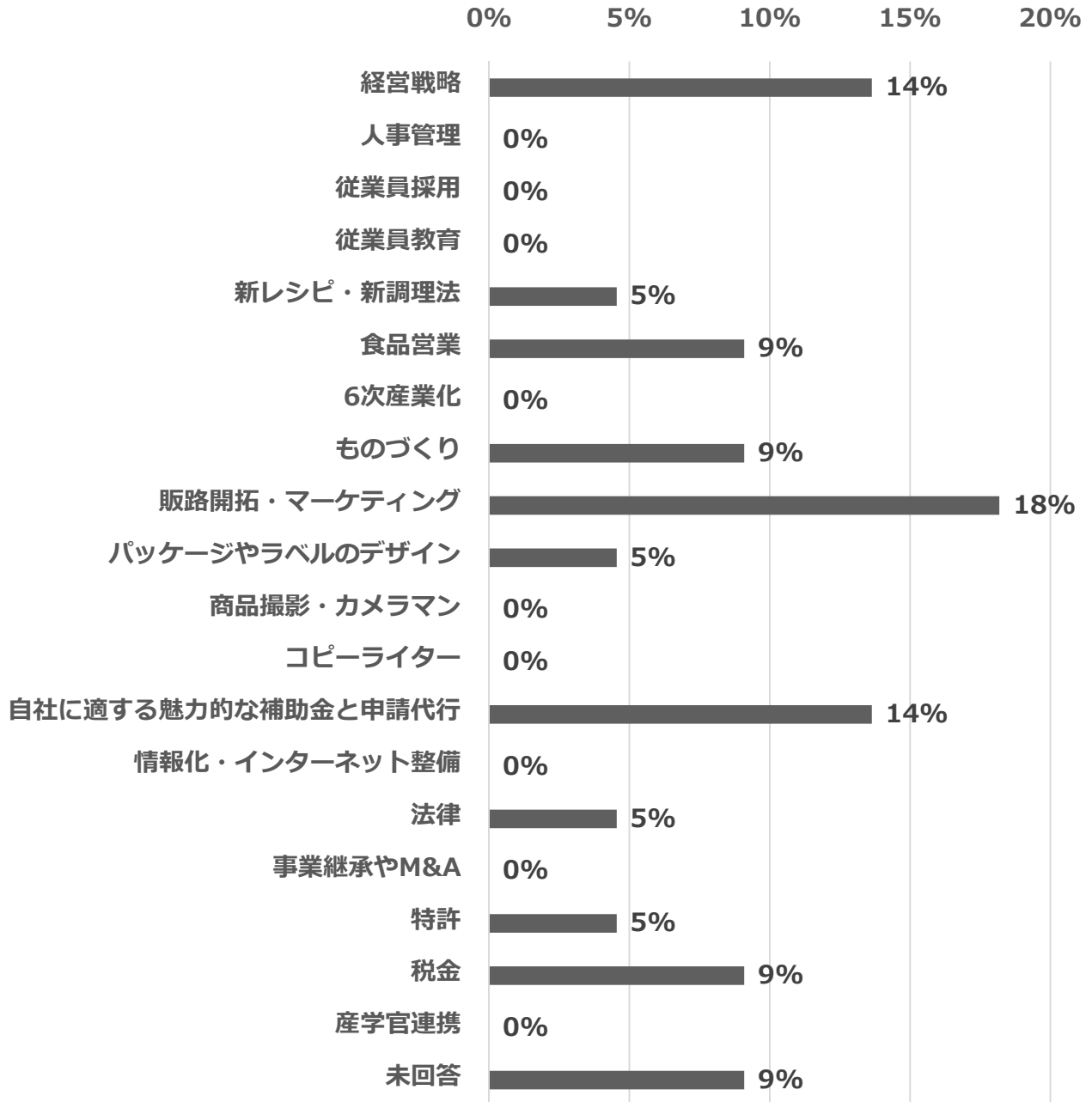
【今回の創業塾セミナーを終えて、創業に向けた“手応え”に変化はありますか？】という問いに対して、「創業しなくなった」「創業できる可能性が高くなった」と回答した人がともに 36%となっていた。他方、「創業できないかもしれない」「諦めた、創業は実現できそうにない」というマイナスのイメージを回答した人は 0%であることから、今回の創業塾を通じて、創業に対してポジティブな姿勢を生み出した可能性がある。





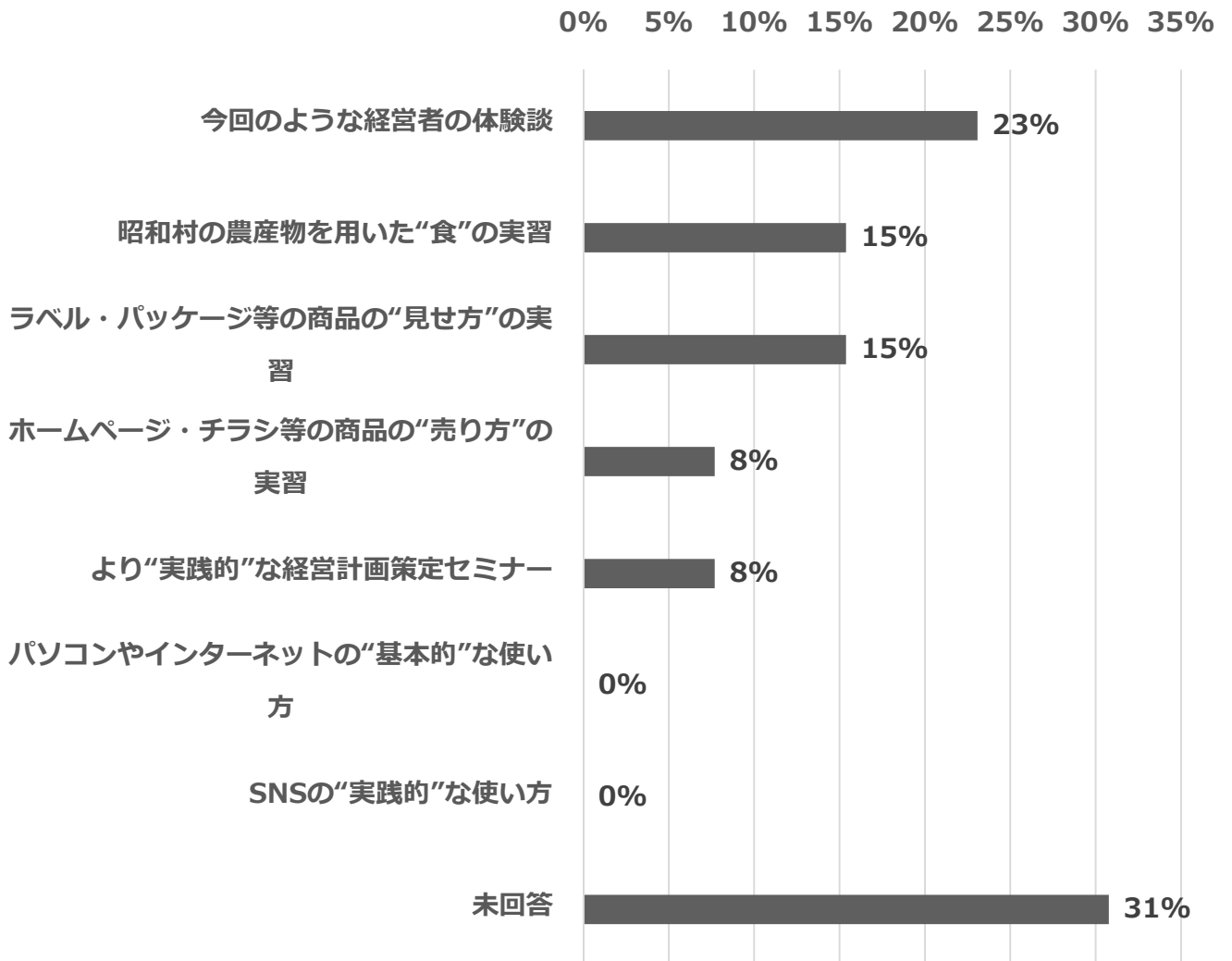
➤ 商工会に支援してほしい内容

【今後、起業・創業に向けて活動される際に、多くの課題や問題点が生じると思います。その解決に向けて、商工会に支援して欲しいことは何ですか？（複数回答可：総回答数 22）】という問いに対して、「販路開拓・マーケティング」が 18%、「経営戦略」「自社に適する魅力的な補助金と申請代行」が 14%、「食品営業」「ものづくり」「税金」が 9%、「新レシピ・新調理法」「パッケージやラベルのデザイン」「法律」「特許」が 5%、未回答は 9%あった。



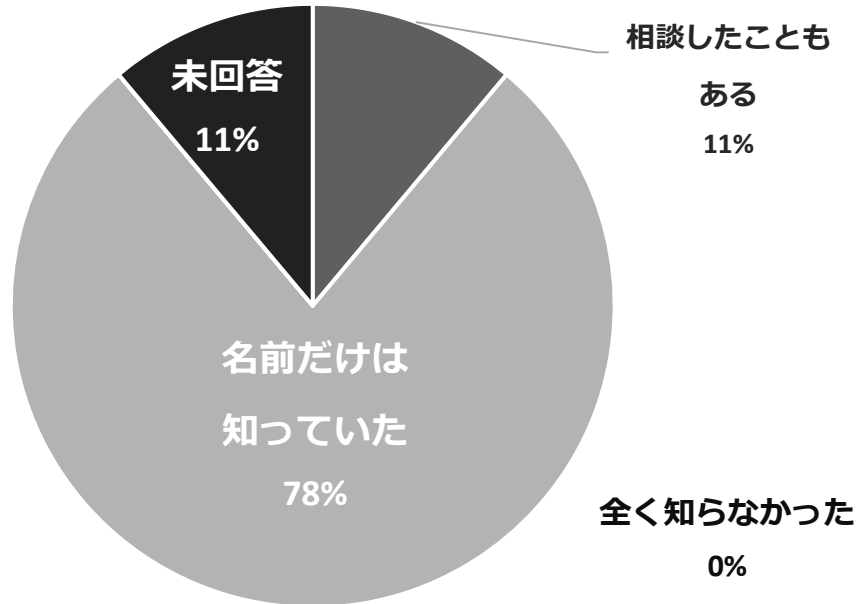
➤ 創業塾で取り上げてほしいテーマ

【次年度、創業塾で取り組んで欲しいテーマは何ですか？（複数回答可：総回答数 13）】という問いに対して、「今回のような経営者の体験談」が 23%という結果で 1 位となり、今回の創業塾が参加者のニーズにあっていたことが伺える。続いて「昭和村の農産物を用いた“食”の実習」「ラベル・パッケージ等の商品の“見せ方”の実習」が 15%で同率、「ホームページ・チラシ等の商品の“売り方”の実習」「より“実践的”な経営計画策定セミナー」が 8%であった。他方、「パソコンやインターネットの“基本的”な使い方」「SNS の“実践的”な使い方」は 0%になっており、実務的なスキルよりも創業後のイメージを求めている姿が感じ取れる結果となった。



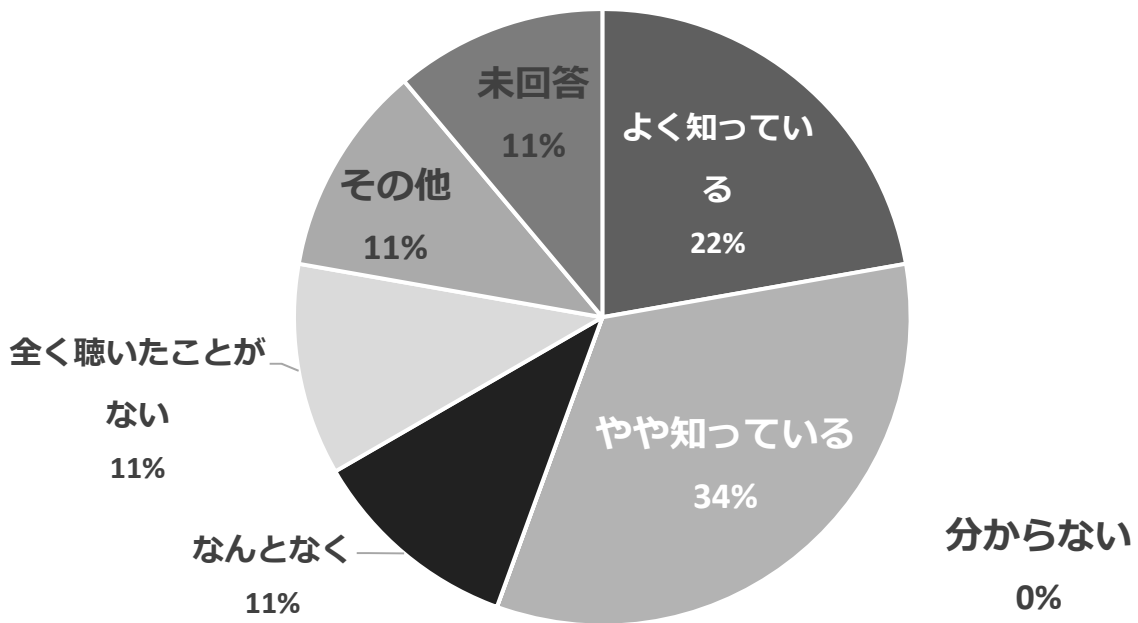
➤ 昭和村商工会の存在を知っていたか

【これまで昭和村商工会のことを知っていましたか？】という問いに対して、「名前だけは知っていた」が78%で「相談したこともある」の11%と大きく差をつける結果となった。



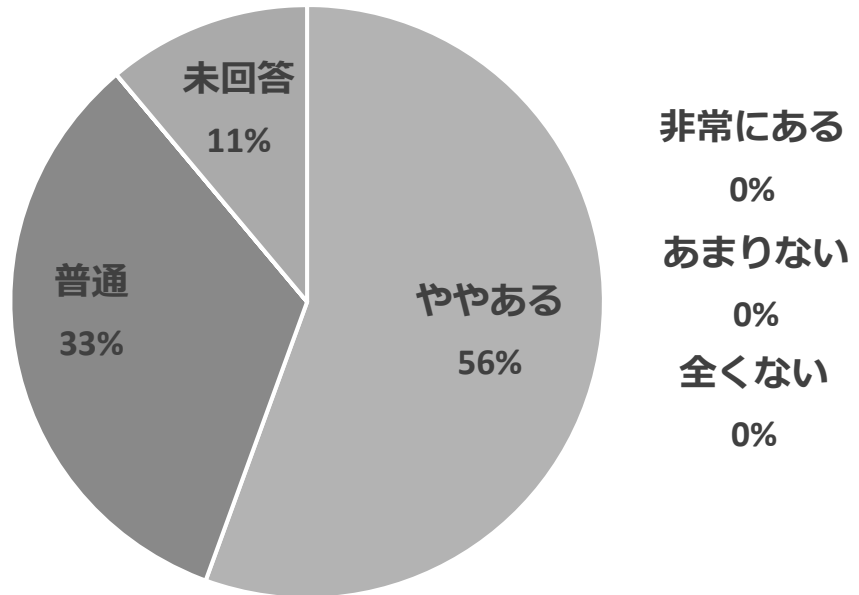
➤ 昭和村商工会の活動を知っていたか

【昭和村商工会は地域経済の活性化に向けて、商品券の販売、子育て観光農園、ハーフマラソン等、様々な活動を行っています。このような商工会の活動を知っていますか？】という問いに対して、「よく知っている」と「やや知っている」で合わせて56%と過半数を超え、「なんとなく」「全く聴いたことがない」が11%で同率となった。



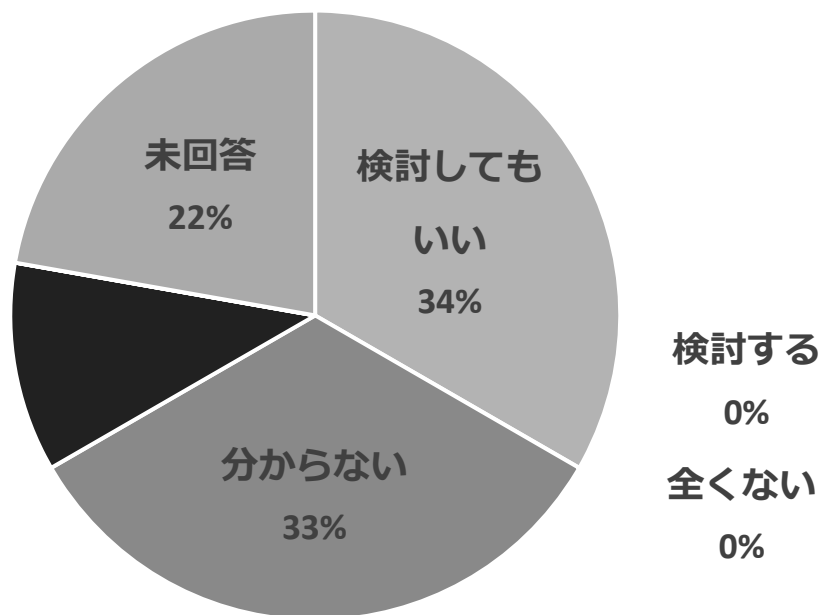
➤ 商工会の支援情報に興味はあるか

【商工会には、起業・創業だけでなく、中小企業や経営者を支援するための施策情報が豊富にあります。これらの情報に興味はありますか？】という問いに対して、「非常にある」は 0%であったが、「ややある」が 56%と過半数を占めた。



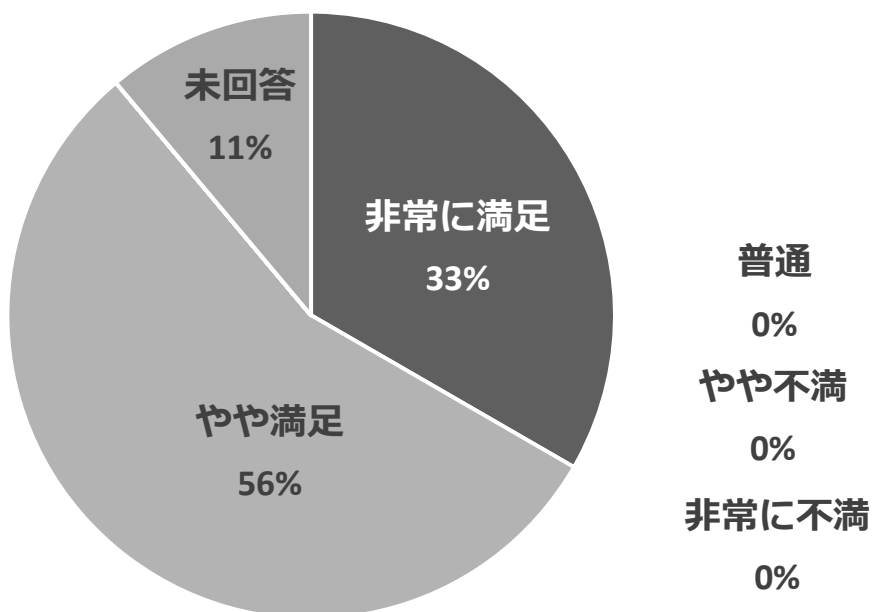
➤ 起業・創業後の商工会への加入

【起業・創業後、商工会への加入を検討しますか？】という問いに対して、「検討してもいい」は 34%、「分からない」が 33%、「あまりない」が 11%と続いた。「検討する」と「全くない」は 0%、「未回答」は 22%であった。



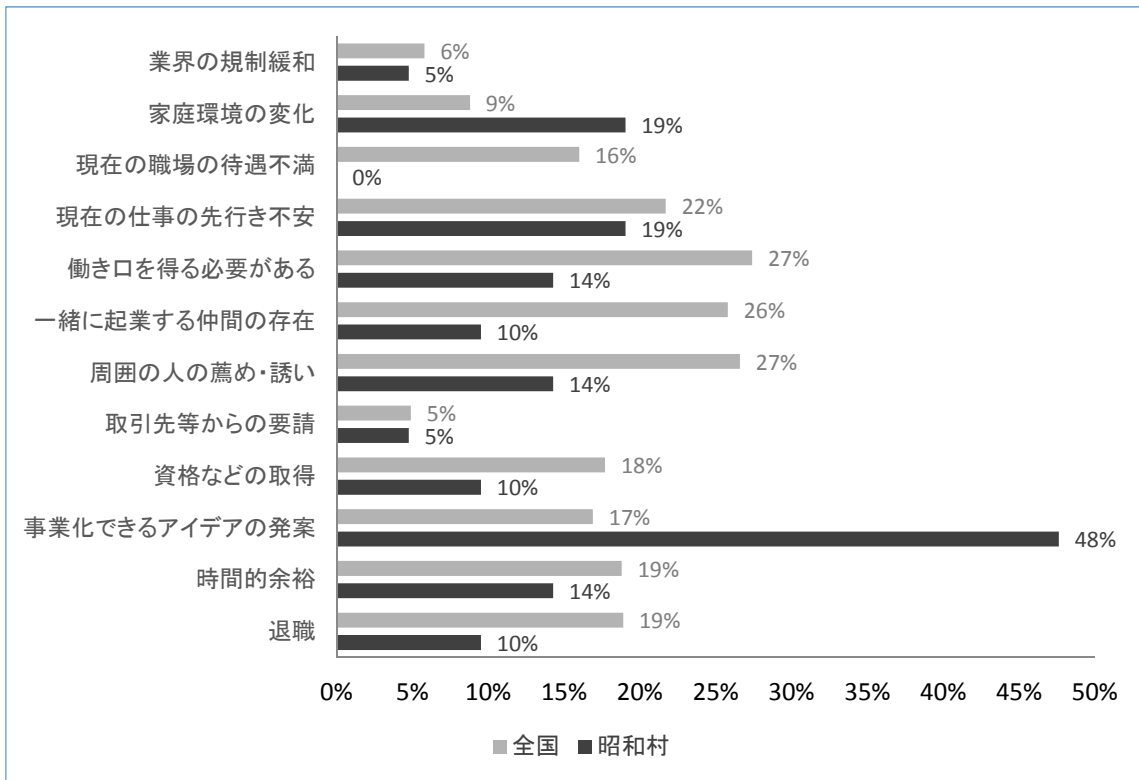
➤ 創業塾の全体的な満足度

【これまでの4回にわたる創業塾、全体的な満足度はいかがでしたか？】という問いに対して、「やや満足」が56%、「非常に満足」が33%と、満足とする回答が9割を超えるなど、非常に満足度の高い内容だったと言える。



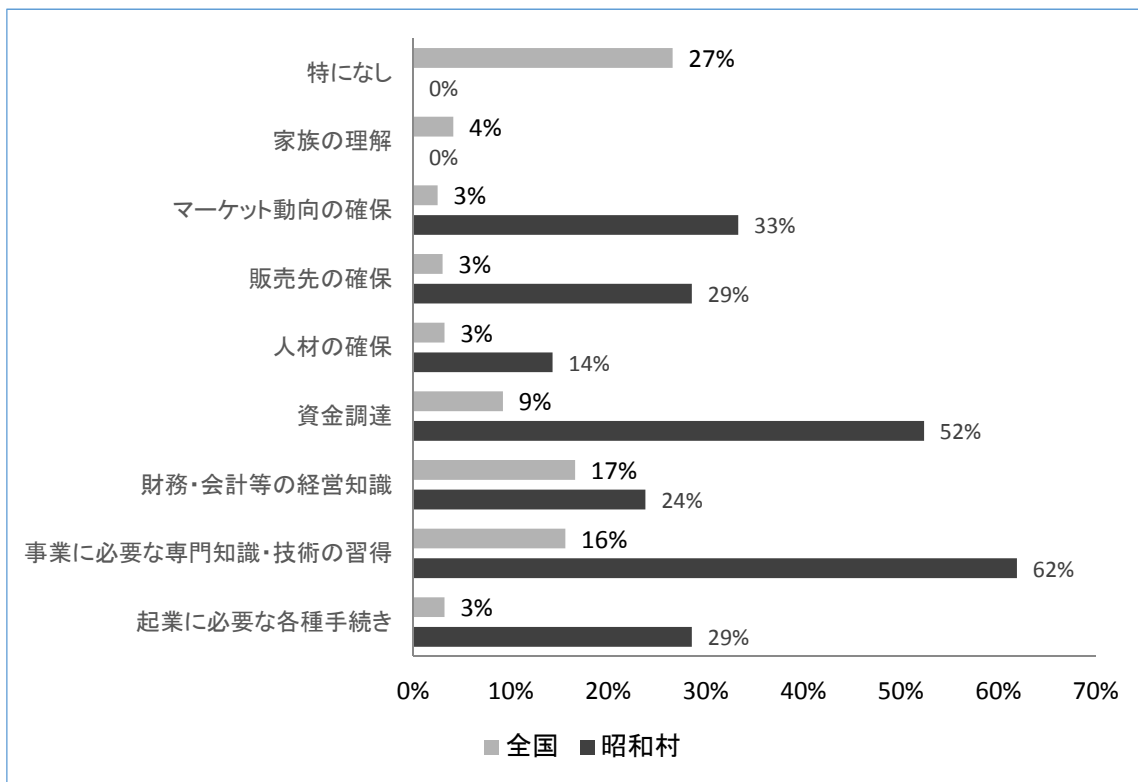
➤ 起業・創業を検討するきっかけ（昭和村と全国との比較）

【起業・創業を検討されるきっかけは何ですか？】という問いに対して、昭和村の回答と全国の回答を比較する。大きく異なるのは、「事業化できるアイデアの発案」の回答で全国は 17%に対して、昭和村は 48%と非常に高い回答となっている。また、「一緒に起業する仲間の存在」が全国は 26%なのに対して昭和村は 10%、「周囲の人の薦め・誘い」が全国は 27%なのに対して昭和村は 14%となっており、全国的には周囲の人間が起業のきっかけになることが多いのに対して、昭和村は事業化できるアイデアが具体的となっていることが感じ取れる結果となった。



➤ 起業・創業に対する不安（昭和村と全国との比較）

【起業・創業に対する不安は何ですか？】という問いに対して、全国と昭和村の回答を比較すると、大きく異なるのは、「事業に必要な専門知識・技術の習得」と「資金調達」である。



➤ 起業・創業に向けての相談相手（昭和村と全国との比較）

【起業・創業に向けて相談相手は誰ですか？】という問いに対して、「家族親戚」が全国は 57%に対して、昭和村は 41%、「友人知人」が全国は 33%に対して昭和村は 18%となっており、昭和村は身近に相談する率が高い。

